

第441回鉄鋼流通問題懇談会

2017年7月26日(水) 14:30

茅場町「鉄鋼会館4階・日本鉄鋼連盟会議室」

議 題

1. 配布資料説明(全鉄連)
2. 全鉄連情勢報告
 - (1) 地区の状況
 - 東京、大阪、愛知、東北地区概況報告
 - (2) その他地区の概況
 - 鉄流懇7月例会で発表の各地区景況などアンケート結果
 - (3) 総括：阪上全鉄連会長
3. 意見交換
4. 経済産業省挨拶
5. 鉄流懇会長挨拶
6. その他

○次回以降会議予定

2017年10月 日() 14:30～

於：茅場町「

」

発表項目	発表者
1. 需給動向（景況感）	<p style="text-align: center;">メーカー JFEスチール</p> <p>（国内）・日本経済は緩やかな回復基調を辿っている。5月の有効求人倍率が前月に引き続き高水準を記録（1.49倍）する等、雇用環境は着実に改善しており、個人消費は概ね持ち直しの動きが続いている。</p> <p>・6月の日銀短観では、堅調な内外需要を背景に大企業製造業の景況感が3四半期連続で改善したほか、非製造業や中小企業も改善の動きを続ける等、幅広い業種で好況感が窺われる。</p> <p>・部門別では、製造業は自動車や機械生産の回復が鮮明となり、建設も東京五輪関連施設整備の本格化による需要増が期待される。</p> <p>（海外）・米同経済は雇用情勢の安定を受けて概ね堅調に推移しているが、現政権の各種政策実施による影響は注視を要する。</p> <p>・中国経済は一部指標の増勢が鈍化も、景気は安定推移しており、ASEAN諸国も総じて緩やかな回復傾向が続いている。</p> <p><国内鉄鋼需給></p> <p>（生産）・6月の粗鋼生産は839万トン（前年同月比▲4.3%）と2ヶ月連続の減少。4-6月では2617万トン（同▲0.2%）。</p> <p>（出荷）・5月普通鋼国内向け出荷は371万トン（前年同月比+4.6%）で7ヶ月連続の増加。一方輸出向け出荷は191万トン（同▲22.4%）と7ヶ月連続で減少。</p> <p>（在庫）・5月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は586万トン（前月比+25.4万トン）、2ヶ月連続で増加。</p> <p>・5月末の薄板3品在庫は408万トン（同+19万トン）、9ヶ月振りに400万トン超も需要は旺盛。今後も在庫状況は注視し、実需見合いの生産に徹していくことが必要。</p> <p>・5月末の厚板シャヤ一在庫は40万トン（同+2万トン）。需要は力強さに欠ける状況。</p>
2. 需要産業動向	<p>〔建築〕・5月の新設住宅着工戸数は7.8万戸（前年同月比▲0.3%）で3ヶ月振りの減少。持家、貸家は前年同月比増も、分譲減で全体では微減。非住宅着工床面積は450万㎡（同▲11.0%）で2ヶ月振りの減少。商業・サービス用で減少。</p> <p>〔自動車〕・6月の国内販売は44.2万台（前年同月比+14.6%）で8ヶ月連続の増加。登録車、軽共に堅調。</p> <p>・5月の完成車輸出は32.0万台（同+5.8%）で4ヶ月連続の増加。北米、欧州向けを中心に堅調。</p> <p>・5月の四輪生産は69.3万台（同+5.5%）で7ヶ月連続の増加。</p> <p>〔造船〕・1-6月の受注は455万GT（16年暦年372万GT）と前年反動減からは回復傾向も、年率換算では依然低水準。</p>
3. 輸出入動向	<p>〔輸出〕・5月の全鉄鋼輸出は320万トン（前年同月比▲12.5%）で4ヶ月連続の減少。韓国、ASEANで減。</p> <p>〔輸入〕・5月の鋼材輸入（普通鋼・ステン鋼・その他合金鋼計）は49万トン（前年同月比+18.8%）で3ヶ月連続増加。国別では韓国（同+30.2%）が5ヶ月連続、中国（同+21.2%）が7ヶ月振りの増加。一方、台湾（同▲13.2%）が6ヶ月振りの減少。</p>
4. 海外市場動向	<p>・6月の世界粗鋼生産は、中国やインド、EU、韓国等の前年同月比増加により、1億4,105万トン（前年同月比+3%）となった。1-6月では8億3,603万トン（同+5%）</p> <p>・6月の中国粗鋼生産は7,323万トン（前年同月比+5%）で月間最高を更新。内需好調に加え、地条鋼排除により正規鉄鋼企業が増産。1-6月では4億1,975万トン（同+5%）と半期最高を記録。</p> <p>・6月の中国鋼材輸出は681万トン（前年同月比▲38%）、11ヶ月連続前年同月比減。内需好調、需給タイト化で国内ソフト継続。1-6月では4,099万トン（同▲28%）。</p>

